

第4回（仮称）新潟駅・万代地区周辺将来ビジョン懇談会 会議概要

開催日時	令和4年7月5日(火曜日)14時00分から16時00分まで
開催場所	新潟市役所 ふるまち庁舎4階 402会議室
出席者	<p>【委員】出席13名</p> <p>小沢謙一 委員、中村美香 委員、羽賀康明 代理、田中健一 委員、高井俊幸 委員、本間慎一 委員、肥田野正明 委員、片山良治 代理、井嶋猛 委員、和田徹 委員、松平信治 委員、音瀬肇 委員、萩野正和 委員</p> <p>【事務局】</p> <p>都心のまちづくり担当理事、都市政策部長、都市政策部</p>
傍聴者	0名
報道機関	5社
会議内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事内容</p> <p>(1)今後の進め方 <事務局より説明></p> <p>(2)第3回懇談会での意見等に関する回答・説明 <事務局より説明></p> <p>(3)将来ビジョン(骨子)について <事務局より説明></p> <p>(4)まちづくり方針と具体的な取組内容について <事務局より説明></p> <p>3. その他</p> <p>4. 閉会</p> <p>【議事(3)についての主なご意見】</p> <p>議論の進行:萩野委員</p> <p>■将来ビジョン(骨子)(資料5)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟駅前エリアで縦の線は考えているが、横のつながりを良くするためにスクランブル交差点化を提案している。東大通・花園・弁天を一つのエリアとして考えると必要不可欠であり、メディアシップ前の交差点でスクランブル交差点にすることで人の流れが大きく変わった実績もある。 ⇒(事務局)資料3で記載のとおり、花園と弁天の交流が生み出され、両側をつなぐため、東大通ではハード面とソフト面の両面で連携を図りながらエリアの一体感を醸成していければと考えている。自動車交通の状況を踏まえ、段階的に歩行者空間を広げていくなど、最適な手法で社会実験などを通して、検討していきたい。趣旨は今回の将来ビジョンに反映していく。 ・将来ビジョンの役割で、自分ゴトと書いているが、ここが難しいと考えている。どういう風にして意識付けをしていくか。具体的なやり方の部分も力を入れていった方がよく、できるだけ明確にした方が良いのではないか。

- ⇒将来ビジョンを具体的にしていく際に、ここにいる皆さんがプレイヤーになることもあると思うが、どのように実現していくか。
- ⇒(事務局)自分ゴトにするにはまちに関わる関わりシロを多くする。公共空間を活用した社会実験等でいろんな方が関わっていただくことから工夫していくのがひとつ。もうひとつはにいがた2kmという冠のなか、様々な取組をしている。
- ⇒(事務局)ターゲットという意味では、JR様企画のFM放送のタウンミーティングで若い方がまちづくりに興味があっても、関わり方がわからないとの意見があった。そういう若い方に参加してもらうことにも取り組みたい。
- ⇒プラットフォームに若い方が入るなど、この機会をうまく使うこともある。
- ⇒まず将来ビジョンができたことを広く示すことも大事。若い方が集まる場でお披露目をしたりできると良いが、そういう場はあるか。
- ⇒にいがた総おどりや新潟まつりなどのコロナ禍からの動き出しを狙っていくと良い。万代シティでも新たな活用主体が出てきており、チャンスと感じている。
- ・資料4で西村先生のご助言で、ストリートが10あるがいろいろ特色がある。動きやすいストリートから動いていくなどして、しっかり動いていることが伝わるように将来ビジョンに示すことが必要である。
- ・西村先生の助言で、水辺まで行けることが大切とある。ミズベリングの活動を続けているが、人と人とのつながりをより作れるともっと発展していけると考えている。また、外部の人に入ってもらうことで異なる視点での意見が出てきて、新たな発見や発展につながっていく。100人会議などから良いまとまりができれば、ぜひ仲間になってもらって、組み立てることができると良い。

【議事(4)についての主なご意見】

議論の進行:萩野委員

■まちづくり方針と取組内容(資料6)及びまちづくり方針の展開(資料7)

- ・光のパーシェントを始めて35年経ち、新潟駅の立体化を契機として新潟駅南側のライトアップだけでなく、新潟駅北側や万代シティ等と連携していくべきだろうという話が出てきている。新潟駅南側だけでなく、新潟駅北側や万代シティ等と企画・調整する必要があり、そのような場が必要となる。新潟駅南側だけでやるのは今年が最後だと思っている。ケヤキ並木の高齢化が進み、イルミネーションを設置できる状況にはなく、新潟駅前広場でやろうとしている。
- ⇒まさにプラットフォームのあり方が求められる。
- ⇒新潟駅前の両サイドにイチョウ並木が並んでいるが、イルミネーションで華やかにできると良い。
- ・最近JR様と連携して、スポ GOMI のイベントを実施しているが、歩いてみて、地区周辺には緑がない印象を持った。セントラルパークのような自然と集う場所がない。旧運輸局の跡地は無視できないエリアだと改めて認識した。
- ⇒ウォークブルと言いつつ、土砂降りになると困る。雁木ではないがシェードが出るようなことができると良い。また、ビルのデザインもこれまでと同じで良いのか。もっと柔らかいビルのデザ

インにして緑を増やす工夫ができると、新潟の良さが出てくるのではないか。

・7月7日7時7分にミズベリングの取組で「水辺で乾杯」を全国で実施しており、新潟はかなり大きな会派だと思う。にいがた2kmの範囲は水辺だった。2km全体で乾杯ということをやっただけですごいPRになるのではないか。

・新潟駅リニューアル工事が完了したら、すべてのバスが南北に抜けていくと誤解している人がかなりいるが、運行方面としては現状、萬代橋側に行く比率が高いので、一部の便(路線)が直通になるものと想定している。駅下の通路を活用することで、南北の行き来はしやすくなるため交流は広がると思う。一方で、意見として、万代口にあるバスターミナルは西側から、新潟駅直下の東側に移り、バスの利用者の降車後の行動は大きく変わってくると思う。

・弁天通は飲み屋街としてやってきた。バス交通が変わって、どのような人の流れになるかは気になるが、実際にバスが運行してみないとわからない。もうひとつ、水辺への誘いが求められるが、難しいというのが正直なところ。こうしたい、というお話があれば有難い。

⇒ソフトの部分で対応できるものは臨機応変にやっていると良い。

・先日、札幌のまちづくりを視察した。地下通路を多くの人を通るが、そこにつながるビルに対して融資や優遇策をつくっていた。貢献する民間への支援に優先順位を付ける、あるいは規制をかけるというのは、行政としてしっかり考えられるとよい。

⇒(事務局)緊急整備地域では民間にセットバックしてもらおうとか、雁木、緑化など、考え方は合致していると思う。緊急整備のなかでも取り組んでいきたい。

・コロナで苦勞しているのはイベントの協賛金集めである。以前に提案したが、SGDs 社会貢献証明書のようなものを発行するとよいのではないか。そのようなまちづくりの関わりを見える化していくと、みんな自分ゴトとして捉えてもらえるのではないと期待できる。協賛金も「まちへの投資」という言い方に代えたい。横浜や長野等で既に取り組まれている事例がある。

■ストリート別の将来ビジョンと取組(資料8)及び具体に向けたリーディングプロジェクト(資料9)

・水辺までどのように歩かせるかについて、管理が国となるため市だけで完結する話ではないと思うが、例えば、萬代橋通から直接やすらぎ堤につながるアプローチは現在ない。そのようなアプローチができると、より水辺に行きやすくなる。市、県、国で連携・調整をお願いしたい。萬代橋から直接やすらぎ堤に渡れるに橋が県市で作ったビジョンに書いてあります。そのような渡れる橋を具体的に本ビジョンにも加筆して頂きたい。

・資料8にあるように通りごとに特色がある。磨いていけば回遊性を持てると実感した。地面のレベルで個性を磨きあげ、競い合う関係が良い。結構ソフト面でやれることも多い。資料9はハード整備のようになってしまいが、イベント等のソフト面でやれることを調整して、リーディングと言わなくてもやれることを記載していくべきである。

水辺までは、そこまでいくかどうかという問題はありますが、水辺まで行けると思えることや目的は明確にあることが大切で、新潟の特色である。行けなくてもよいが、繋がっているとわかることが重

要である。もうひとつ、新潟らしいのは、東大通と萬代橋通が中心で都市の軸だと誰もが思っていることであり、当たり前に見えるが重要である。大阪でいうと心齋橋通りと御堂筋のように、副軸とセットで考えられるのが良いところである。

かなり建替えが進んでいるが、この通りはこうだから1階はこうしてほしいというそれぞれでガイドラインを作って、地元合意のなかで足固めできると良い。明確に打ち出すことが大切であり、通りが魅力的になると理解できればみんなもやってくれる。時間は掛かるが、ぜひ今後もやってもらいたい。全体として見ると可能性があり、回遊できるまちであると思う。

- ・情報発信について、良いものを作ったときに、いかに発信していくかが重要になる。これについては、駅を持っているJRとして広域発信など役立てるのではないか。2点目はプラットフォームについて、若者の話が出ていた。またジェンダーの話もある。繊細な話が漏れてしまうこともあり、若者、女性、子供、ファミリー、障がい者の方、LGBTの方などいろいろな意見を拾えるプラットフォームになると良い。

- ・ストリートの10が目立つようにしてほしい。あとストリートの名前もつけた方が良い。ストリート毎のカラーをもう少し出し、ストリートごとに差別化できると良い。

⇒いろんなところで人流の調査をしていると思うが、万代は滞在で、新潟駅は人が通過しているイメージがある。カラーをつけていくときにはそんなデータがあると良い。

- ・新潟駅が動くタイミングは非常に重要であり、次の長い期間を見据え、考えていくことが必要である。これを機に古町を含め新潟をどうしていくべきか考えることが大事である。

以上